



2025年 9月の予定

開館時間	月・水・金	9:00~17:00
	火・木	9:00~19:00
	第1・3土	9:00~17:00

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3 ◆視覚当事者相談 13:00~17:00 ◆視覚月替り企画	4	5	6 ◆肢体当事者相談 13:00~17:00
7 閉館	8	9	10	11	12	13 閉館
14 閉館	15 敬老の日 閉館	16	17	18	19 がみきょうしつ 折り紙教室	20
21 閉館	22	23 秋分の日 閉館	24	25	26	27 閉館
28 閉館	29	30	10月1日 中途視覚講習会 パソコン開放日 ★聴覚障害の当事者相談は、随時受付ています。 ★平日の装具・福祉機器住宅改善相談は来館での相談に加え、ご自宅を訪問して相談に乗ることが可能となりました。まずはお電話でご相談ください！			
	制度	歩行	個別歩行			

ちいきせいかつしえん
地域生活支援センターみ～な

よんで²み～な 9月号

2025/8月発行 No.54

さいきんできごとか
最近の出来事を書いた
コラムもあるよ。
読んでね♪

内容

- 中途視覚障害者講習会
- 当事者相談（眼の障害）月替り企画
- 当事者相談員によるコラム

がみきょうしつ
折り紙教室

おいしいよ！

日時：9月19日（金）午後1時15分～2時45分
会場：福祉センター内（OT室）
内容：さんま
対象：府中市内在住で身体障害のある方
定員：6名（先着順）
申込期間：8月15日（金）～9月9日（火）
参加費：無料

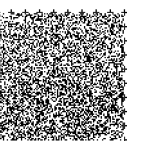
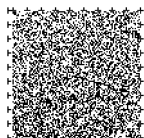
編集後記

まだまだ暑い日が続きます
皆様元気でお過ごしでしょうか？
秋はすぐそこまで来ていると思うと物寂しい気持ち
ちになる時期でもありますが季節の野菜や果物が
食べられるのは今の内です。
水分補給をしっかりと夏を乗り切りましょう。
（松 田）



しゃかいふくしほうじんふちゅうししゃかいふくしきょうぎかい
社会福祉法人府中市社会福祉協議会
ちいきせいかつしえん
地域生活支援センターみ～な

〒183-0026 東京都府中市南町5-38 府中市立心身障害者福祉センター内
TEL：042-360-1312 / FAX：042-368-6127
e-mail：mi-na@f-sinsyo.jp / URL：http://www.f-sinsyo.jp/



じゃくししゃ・ちゅうとし か くしょうがいしゃ こうしゅうかい 弱視者・中途視覚障害者のための講習会



- 病気や事故等で視覚障害(見えにくい)となりこれからの生活や現 状に不安を感じていませんか？
- ご家族の障害をどう受け止めて支えていくか悩んでいませんか？

①9月29日(月)

生活をより楽に ～サービスや道具などを活用して～

◎講話:午後1時30分～3時30分

◎用具展示:午後1時～4時(予約された方はご自由にご覧いただけます)

講師:府中市障害者福祉課

- ・視覚障害者が活用できる制度やサービスなどについての紹介
- ・生活用具や福祉機器、身近な便利グッズの紹介 など



②9月30日(火)午後1時30分～4時

移動を考える ～安全な歩き方について一緒に考えてみませんか～

講師:岡崎あずさ氏(歩行訓練士)

- ・視覚障害者の安全な歩き方の基本をお伝えします。
- ・外や家の中での安全な移動について、一緒に体験しましょう。
- ・援助者側は視覚障害者の不安や思いに気づき、技術だけではない《介助》を考える機会に。



③10月1日(水)午後1時30分～4時

個別歩行訓練 ～基本の歩き方を体験してみませんか～

講師:岡崎あずさ氏(歩行訓練士)

※1名20分×先着5名で申込みを受け付けます。介助者の同伴可。



対象:府中市在住の弱視者、中途視覚障害者(弱視、網膜色素変性症、緑内障、黄斑変性症

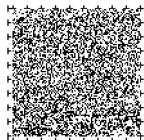
糖尿病性網膜症など)、中途視覚障害者の家族、ヘルパー、関係機関職員など

定員:①講話:15名程度(用具展示は定員は設けませんが要予約です) ②15名程度 ③5名(1名20分)

場所:ルミエール府中(府中市市民会館)(府中市府中町2-24)

①②第1・2会議室 ③第1会議室

《申込み》 ※先着順 8月15日(金)～9月19日(金)



もうしこ といあわ ちいせいかつしえん

お申込み・お問合せは、地域生活支援センターみ～なまで ☎ 042-360-1312 Fax 042-368-6127 e-mail: mi-na@f-sinsyo.jp

とうじしゃそうだん め しょうがい がつ つきがわ きかく
当事者相談 眼の障害 9月 月替り企画

『イスに座って簡単ストレッチ』

日時:9月3日(水)午後1時30分～3時

会場:府中市市民活動センタープラッツ6階 第1会議室B

対象:府中市在住で眼に障害がある方 および ご家族・付添者

定員:8名(先着順・最低催行人数2名)

申込期間:8月15日(金)～9月1日(月)

持ち物:首にかけられる長さのタオル。飲み物。動きやすい服装でお越しください。

さぎょうりょうほうし
作業療法士が
指導します！



ひとりぐ 一人暮らしの危機(肢体不自由当事者相談員 梶島剛之)

詐欺の形は時代と共に変わってきているみたいだ。最初は息子を語り、親心の不安を煽る様なものから、

「何かに当選しました」という内容で人を喜ばせておいて、騙すようなものもあった。

僕の生活は朝と晩に介助者がきてくれないとアパートからの出入りができない(何度も書いてるが)。

今僕は、ヘルパー会社九社と契約している。でも、六月いっぱい、その内の一社が撤退する事になった。

だから、僕が生活していくには、新しいヘルパー会社を探さなければいけない(過去に何度もあった)。

撤退する事業所が入っていた時間は火曜日の夜で、主に夕食・入浴と就寝準備を頼んでいた。

そこで僕はヘルパー会社の一覧片手に電話を掛けて、上の条件でお願いしていった。でも、ことごとく断られてしまった。

その理由としては「その時間は派遣できません」とか「区域が違います」と、理由は様々だったが、一番の理由は人手不足(男性ヘルパー)だった。

最近僕の固定電話に留守電が入っていることが多くなっている。聞いてみると「電話料金未払いのため、このままですと今月いっぱいで契約が打ち切られます。ご心配の方は・・・」という内容が電子音で入っていた。

多分、その後操作をすると説明者が出てきて、お金をだまし取られる仕組みになっているのだろう。それが二日置きにかかってくるのだから、たまらない。

でも、待てよ、詐欺グループも人手不足だから最初は電子音で流しているのかな・・・？

どこも、人手不足なのか？

【かばのその後】

なんとか、新しい事業所を見つけ契約したので、七月以降も生活を送れるようになった

